

大雨による防災情報（第1報）

湯沢河川国道事務所
災害対策支部【警戒体制（砂防）】継続

現在、湯沢河川国道事務所では、8月9日に発生した仙北市供養佛地区の土砂災害以降、災害対策支部警戒体制（砂防）を継続しています。
11月21日8時現在、八幡平山系秋田県側（仙北市田沢湖生保内地内）の雨量観測所の連続雨量が80mmを超過しました。今後の降雨状況を見て、管内砂防施設の巡視点検を実施する予定です。

◆砂防降雨状況（11月21日8時00分現在）

山系	雨量観測所 (仙北市)	連続雨量	時間雨量 7～8時
八幡平山系 (秋田県側)	黒湯	80mm	1mm
	熊ノ台	36mm	0mm
	生保内	48mm	0mm
	小先達	63mm	0mm

※雨量超過観測所

※警戒体制基準雨量：連続雨量120mm、または時間雨量40mm

※注意体制基準雨量：連続雨量80mm

◆災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	解除
砂防		8月9日 9時00分	—	—

◆その他

今後の防災情報にご注意ください。

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2

TEL 0183-73-3174（事務所代表）

〈砂防〉 調査第一課長 畑山 作栄（内線351）